

神奈川県の学童保育

新しい子どもたちを迎え、何かとあわただしい日々。1年生が元気よく「ただいま」と帰ってくるのが何よりも楽しい時期。

今日本国中を「保育園落ちた。日本死ね」が駆け巡り、「学童落ちた」も言われています。数年後この子どもたちは就学年齢を迎え、学童への入所予定。もちろん今年も含め「学童に入れない」という状況を生み出したくない。施設基準、指導員配置・処遇の問題、まさに保育園と同じ課題を抱えている学童。毎年毎年が希望する子ども全員が入所できるために国・県・市町村への私たちの取り組み脚光を浴びるときです。

今、施設基準等猶予がありますこの時期に行政を動かして課題に解決に向かいましょう。

ありがとう・感謝・感動 ∞(無限大)

—「かな研」に450人—

去る3月6日(日)、神奈川学園(横浜)を会場に第39回神奈川県学童保育研究集会を開催し、県内の学童保育の指導員、保護者など、450人以上が参加しました。

午前中の全体会は来賓あいさつ(県次世代育成課:榊原課長、学童保育を支える県議員連盟:佐藤光会長)に続く基調報告のあと、横浜市藤棚台学童クラブ保護者の成田さんからの特別報告があり、会場は共感で包まれました。そして「かけがえない『子ども時代』のために」と題しての大東文化大学准教授の渡辺恵津子さんによる記念講演へと進みました。記念講演は「学童保育は子どもと親の宝物であり、学童保育を通して自分だけの子育てが社会とつながる」、学童保育の5つの魅力について説明。さらに「深い子ども理解」と、学力競争社会のなかで、子ども時代を取り戻す大切さなど、丁寧に解説され、わかりやすく感動的な内容でした。午後は16の分科会に分かれて学習しあいました。「ようこそ学童保育へ」

の初心者向けから、「指導員の仕事」「食物アレルギー」「障害のある子を含めた生活づくり」保護者中心の「しゃべり場」「神奈川の学童保育」などバラエティーに富んでいました。第16分科会では全国連協の木田会長による「国の状況」についての詳しい説明があり、運動の手がかりを掴んでゆきました。

今回初めての会場となった神奈川学園はとても使いやすく、すべてのプログラムが順調に進行しました。同学園のご協力に感謝し、今後も使ってゆきたい会場のひとつであると感じました。

終了後は横浜駅近くの居酒屋で大交流会を行い、こちらも大いに盛り上がりました。

<参加者の声より>

- 渡辺先生のお話、とてもよかったです。早く家に帰って子どもをおんぶしてあげたい。
- 成田さんの特別報告は自分も保護者として共感できる素晴らしいメッセージでした。
- (第3分科会)参加意識の高さを感じた。質問内容も具体的で、やはり「記録」というテーマは必要だと実感した。
- (第9分科会)あっという間に時間がすぎた分科会だった。保護者会は人を育てる場なんだと実感。



活動報告(2月～3月の主な活動報告)

2月4日(木) 県連協2月度運営委員会

2月6日(土)～7日(日) 全国運営委員会

2月19日(金) 県連協2月度役員会

3月3日(木) 県連協3月度運営委員会

3月6日(日) 第39回神奈川県学童保育研究集会

3月9日(水) 第40回指導員交流会

3月18日(金) 県連協3月度役員会

♪ 地域連協だより ♪

相模原市連協より

相模原市は公立児童クラブに加え、様々な運営形態の学童保育があります。設置率は全国の政令市で最も多いものの、需要がそれを上回り、待機児童数は県内の約1/3を占めています。

市連協では指導員処遇費や非課税世帯への民間学童通所者への保育料補助の問題(公営施設通所者には補助あり)を話し合ってきました。他市からの情報も頂きながら、指導員処遇費については1部の施設に交付され、保育料補助も必要があるという認識を市に持って貰うことができました。また市の委託事業として民間学童保育の普及イベントも実施しました。

また26年度より指導員交流会を定期的に行い、指導員としての基礎知識の確認や日々の保育についての語り合い、研修会参加者からの報告などを行っています。



いよいよ新年度が始まりました。皆様の地域ではどのようなスタートを迎えられたのでしょうか？さて、今月は相模原市、そして寒川町のご紹介です。

寒川連協より

寒川 NPO 法人へ

寒川町の学童保育は、寒川学童保育会が町内5つの学童保育を、2015年4月より、町から委託を受け、運営しています。

現在は、任意団体ですが、NPO法人にするための発足総会を3月20日(日)に開きました。3月中に県に申請をし、7月末ごろには正式にNPO法人となる予定です。

2016年4月より町の方針が改定になり、学童保育の入所は、町長名で出すこととなります。

また、分割があり、町内6つの学童保育となります。

このように、寒川の学童保育は、今、大きく変化しています。

来月の「地域連協だより」では海老名市と逗子市を予定しています。お楽しみに！

<2016年度これからの予定>

5月25日(水) 第41回指導員交流会(平塚市)

6月12日(日) 第41回全国学童保育指導員学校南関東会場(明星大学・東京都日野市)

6月19日(日) 第41回神奈川県学童保育連絡協議会定期総会(横浜市)

7月3日(日) 第42回指導員(一日)交流会(未定)

この他、県連協運営委員会は第1木曜日、県連協役員会は第3金曜日に定例で開催しています。

*「かな研参加者の声」をアップしました。県連協HP(<http://atdiary.jp/kanaken>)をご覧ください。